

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2004-91062 (P2004-91062A)
【公開日】平成 16 年 3 月 25 日 (2004.3.25)
【年通号数】公開・登録公報 2004-012
【出願番号】特願 2002-251167 (P2002-251167)
【国際特許分類第 7 版】

B 6 6 C 13/22

【F I】

B 6 6 C 13/22 R

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 6 日 (2005.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】クレーンの振れ角検出方法およびクレーンの振れ角検出システム

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤロープで荷物を吊り上げて運搬するコンテナクレーン等のロープ振れ角を検出するクレーンの振れ角検出方法において、スプレッドに電力及び信号線の供給を可能とし、該スプレッド及びヘッドブロックに傾斜計を設置してスプレッドの水平方向の傾斜を検出し、前記スプレッドに振れがある場合にロープが弛まないとすれば、スプレッド傾斜の検出角度よりスプレッドの振れ角を算出することを特徴とするクレーンの振れ角検出方法。

【請求項 2】

トロリー横行方向に対して前後に一つずつの傾斜計をそれぞれロープに設置することによりロープの振れ角を検出して、前記ロープの振れ角から演算によりスプレッドの振れ角を算出することを特徴とする請求項 1 記載のクレーンの振れ角検出方法。

【請求項 3】

ワイヤロープで荷物を吊り上げて運搬するコンテナクレーン等のロープ振れ角を検出するクレーンの振れ角検出システムにおいて、スプレッドに電力及び信号線の供給を可能とし、該スプレッド及びヘッドブロックに傾斜計を設置してスプレッドの水平方向の傾斜を検出し、前記スプレッドに振れがある場合にロープが弛まないとすれば、スプレッド傾斜の検出角度よりスプレッドの振れ角を算出することを特徴とするクレーンの振れ角検出システム。

【請求項 4】

トロリー横行方向に対して前後に一つずつの傾斜計をそれぞれロープに設置することによりロープの振れ角を検出して、前記ロープの振れ角から演算によりスプレッドの振れ角を算出することを特徴とする請求項 1 記載のクレーンの振れ角検出システム。